

本市は、古くから育まれた歴史とともに、文化・芸術で活躍された先人たちを多く輩出しており、現在市内の各所で盛んに文化・芸術活動が行われています。

今年度も多くの団体、個人の方々が予選、審査を勝ち抜き、全国大会などで優秀な成績を収められました。こうした各団体・個人の方の声を紹介します。

**団体**

**川内女性合唱団**

「フローズン・ヴォーチェ」

結成18年目にして、青森県で開催された「全日本おかせんコーラス全国大会」に九州支部代表として初出場し、上位の団体に贈られるひまわり賞(金賞)を受賞することができました。受賞が決まった瞬間、会場で発表を心待ちにしていた団員23人から、大きな歓声が上がりました。そのときの感動は、心深く刻み込まれています。

団員同士、音楽を楽しむ心を大切に、「お客さまに感動を届けるにはどうしたらよいか」ということを常に考えながら練習に励みました。発声の基



本や声質、音色ばかりではなく、表現の方法も模索し、団員が一致団結して心のこもった合唱を作り上げました。団体結成以来、サポートしてくださった先生方と、私たちの活動を理解し支えてくれる家族、そして、応援してくださっている皆さんには、感謝の気持ちでいっぱいです。

今後は、市内で開催される各種イベントでの演奏や、学校の元気塾、文化祭、施設訪問、県内外のコンクールにも出場し、「お客様に幸せを」を motto に活動していきたいと思えます。

感謝の気持ちを込め、少しでも喜んでいただくことを目標にしています。

今後は、3月に行われる第28回定期演奏会に向けて、精力的に練習を重ねていきます。



**川内中央中学校吹奏楽部**

私たち川内中央中学校吹奏楽部は、「雲外蒼天、情熱が夢を叶える」を motto に、日々練習に励んでいます。部員は40人ですが、3年生が引退し、現在21人で活動しています。

今年度は、県代表として九州吹奏楽コンクールへ初出場を果たし、金賞を受賞しました。また、戦没者追悼式や薩摩国分寺秋の夕べなど、市の事業や地域のイベントでも演奏を行いました。音楽的な技術を身に付けることだけ

**個人**

**上床直人氏**



ではなく、人づくり・仲間づくりを大切にしています。先輩と後輩がコミュニケーションを密にし、より良い演奏ができるように取り組んでいます。

目標に向かって練習していく中で、いつも支えてくれる家族や地域の人々の応援に応えられるよう、これからも今まで以上に心を込めて演奏していきます。

昨年8月に東京で開催された第12回ルーマニア国際音楽コンクールにおいて、打楽器部門第2位と、セバステイアン・ゲオルグ賞という賞を受賞しました。この賞は、今年8月にルーマニ

**八幡きらめき太鼓**

八幡地区コミュニティ協議会所属の和太鼓チームである八幡きらめき太鼓は、地域での取り組みをきっかけに、平成13年度にチームを立ち上げました。現在、会員は13人(大人10人・小学生3人)で、市内のイベントや文化祭、老人福祉施設などへのボランティア活動にも積極的に取り組んでいます。

平成27年は国民文化祭に参加し、皇太子殿下の前で演奏するという、貴重な体験をさせていただきました。また昨年は、愛媛県で開催された「愛媛いやしの南予博 和太鼓コンテスト」に出演し、チームも一段とパワーアップしました。

これからも地域の方々に感動を伝える演奏をしたいと思っています。



**平佐西小学校吹奏楽部**

私たち平佐西小学校吹奏楽部は、2年生から6年生までの計41人で、「One For All All For One (一人はみんなのために、みんなは一人のために)」を合言葉に、明るく楽しく活動しています。

昨年は、第61回鹿児島県吹奏楽コンクール小学生の部に出場し、九州吹奏楽コンクール出場の切符を手に入れ、九州大会では金賞を受賞しました。出場団体22団体中1位の評価を受け、大阪城ホールで開催された第35回全国小学生バンドフェスティバルにも出場し、銀賞を受賞しました。

コンクール以外でも、地域のさまざまなイベントで演奏させていただきました。演奏の際は、日頃お世話になっている保護者や地域の方々、聴いてくださる方や応援してくださる皆さんへ



アで開催されるセミナーへの参加資格を得ることができる賞です。

私は15歳からマリンバを勉強し、今年で9年目になります。木琴の一種であるマリンバはとも歴史が浅く、認知度が低い楽器です。そのため、多くの方にマリンバという楽器を知ってもらい、その魅力を感じてほしいという想いから、現在、日本各地で演奏活動を行っています。初めてマリンバの演奏を聴いた方からは、「素敵な音色」「もっと聴いてみたい」という言葉をいただき、嬉しく感じています。

これからは、留学し、海外でのリサーチルに向けて活動していきます。これからも「聴いている人の心が動く演奏」を目標に精進していきます。



**後潟里枝氏**

小学3年生のときにアルトホルンを始めましたが、4年生で、同じ金管楽器であるユーフォニアムに転向し、この楽器が好きですと演奏を続けています。

現在は、松陽高校音楽科に在籍し、毎日好きな音楽を学びながら、さまざまなコンクールに挑戦しています。

昨年は、第26回日本クラシック音楽コンクールユーフォニアム部門で鹿児島県代表として選ばれ、全国大会に出場し、入賞しました。また、第12回ルーマニア国際音楽コンクール管楽器部門において、第2位の受賞となりました。その他にも、ウイーンで本場の音楽を体感するなど、貴重な経験をたくさん積むことができました。

コンクールで良い成績を収めた時はとても嬉しく、「もっときれいな音で演奏したい」という気持ちで常に頑張っています。

ユーフォニアムという楽器を沢山の人が知ってもらうため、これからも練習に励み、全国や世界で活躍したいと思っています。

